

経営者インタビュー⑫

～人材育成、職業訓練等に関する”ホンネ”を聞く～

このコーナーでは、多摩地域の中小企業の経営者の方々に人材確保・人材育成などについてインタビューした内容の一部を紹介します。

第12回目となる今回は、株式会社葵製作所 代表取締役社長 長谷川 薫 氏にご登場いただきました。

株式会社葵製作所

所在地：東京都八王子市石川町3216-7

創業：昭和46年4月

事業内容：各種大型筐体、ラック、架台、フレーム等の板金加工

各種シャーシ、ケース類の精密板金加工

機械加工類、アクリル等の樹脂加工

その他付随するメッキ、塗装の処理加工、彫刻、

従業員数：21名



長谷川社長

Q1 採用に当たっては、どのような点を重視していますか。

「正直で素直な人」であるかどうかを重視しています。技術力は見えていません。技術力は採用後に習得してもらいますが、新しい技術を身に着ける対応力は必要です。

時代に合わせて良い製品が作れるよう「一緒にものづくりができる」柔軟な思考を持った人を求めています

Q2 採用後の人材育成についてはどのように取り組んでいらっしゃいますか。

試用期間の3か月は、溶接、板金、レーザー加工など幅広い技術を体験させています。営業にも溶接を体験してもらうなど一通り会社の業務を体験してもらっています。その後、それぞれの部門に配属されますが、一つの分野での専門家ではなく「多能工」を目指しています。

かつての職人の教育では最近の若い人たちは育たないため、「伴走型」の教育を行っています。社員間のコミュニケーションを大切にし、わからないことを聞いてもらえる雰囲気づくりを醸成できるようにしています。

普段のコミュニケーション作りを大切にすることから、毎朝、社長みずから声掛けを行い、「社員が主人公である」という意識づけを行っています。

Q3 職業能力開発センターの魅力、期待はどんなところでしょうか。

会社に来てもらい人材育成ができる現場訓練は良い事業だと思っています。技術者だけでなく、営業でも3Dソフトが使えるなどの活用も考えており、これからは職業能力開発センターの各種事業を活用していきたいと考えています。

また、社内研修に適用できる中小企業人材スキルアップ支援事業は、1人1時間当たり助成単価をもう少し上げていただければより使いやすくなると思います。

Q4 これからの企業活動について、どのようにお考えですか。

技術をたゆまず継承し、なくてはならない存在であり続けることで、当社の加工技術を後世に残していきたいと思っています。

新しい技術にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。そのため、「金属製品の良さ」を実感してもらえる製品を作り、社会に発信していきたい。そのため、様々な壁を乗り越えられる人材を育てたい、だからこそ「元気な人」に来て欲しいと思っています。

長谷川社長、ありがとうございました！